※令和４年度以降入学生用

学校番号	3018

令和５年度　福祉科

教科	福祉	科目	介護福祉基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「介護福祉基礎」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

介護従事者として、必要な基本的な倫理観と態度を学ぶとともに、個人の尊厳や自立支援など一人ひとりの利用者に応じた介護について考えていきます。１年生では、介護が必要な人の気持ちになって尊厳のある介護について考え、介護福祉士として必要な職業観の基礎を育みます。

①超高齢社会における介護の問題に興味や関心を持って授業に取り組み、グループワークや発表など、積極的に参加しましょう。

②国家資格である介護福祉士の受験資格を取得するために必要な科目です。

２　学習の到達目標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、人間の尊厳を支え自立支援を行うために必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目標とします。

①介護について体系的・系統的に知識を理解するとともに、関連する技術を身に付けます。

②介護に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。

③健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、適切な介護の実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	介護について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	介護に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、適切な介護の実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1編　介護の意義と役割	第1章　尊厳を支える介護 1　介護の意義、役割、尊厳を支える介護 2　利用者主体の介護サービス 3　介護を必要とする高齢者の人権と尊厳 4　介護を必要とする障害者の人権と尊厳	a:人権尊重の基本的な考え方や高齢者虐待防止法および障害者虐待防止法について理解している。 b:高齢者虐待が起きる背景に関して、多面的に考察し、表現することができる。 c:高齢者や障がい者に対する人権について関心をもち、虐待を防ぐための解決方法について主体的に取り組む態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 観察
		第2章　自立に向けた支援 1　自立を支援する専門職 2　個別性を尊重した自立のための支援	a:ＩＣＦやリハビリテーションの考え方について理解している。 b:ＩＣＩＤＨとＩＣＦの特徴について、多面的に考察し、違いを表現することができる。 c:介護従事者として、障がい者の自立を尊重した生活支援について主体的に取り組む態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 観察
	第2編　介護福祉士の担い手	第1章　介護従事者をとりまく状況 1　介護の歴史と現状 2　介護福祉士の養成 3　介護人材の確保と定着 4　介護従事者のキャリアアップ	a:介護の歴史と社会福祉士及び介護福祉士法について理解している。 b:介護をとりまく歴史的変化について多面的に考察し、超高齢社会を支える介護人材のあり方について表現することができる。 c:介護人材の不足について関心をもち、介護人材の確保に向けた解決方法について主体的に取り組む態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 観察

※令和４年度以降入学生用

		第2章　介護従事者の役割と介護福祉士 1　介護の役割、介護福祉士の専門性 2　災害時における支援、平常時の防災活動 3　在宅介護従事者の役割 4　施設介護従事者の役割 5　終末期における介護従事者の役割	a:在宅や施設における介護従事者の役割や災害時における介護従事者の支援活動について理解している。 b:介護を必要とする利用者に対して、日常的な介護にとどまらず、災害時の介護について思考を深め、表現することができる。 c:介護従事者の役割と専門性について興味や関心をもち、求められる介護福祉士像に向けて主体的に取り組む態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 観察
2学期		第3章　介護従事者の倫理 1　専門職の倫理 2　専門職としての基本姿勢 3　プライバシーの保護	a:介護従事者に必要な職業倫理と、介護場面におけるプライバシーの保護について理解している。 b:介護場面におけるプライバシーについて思考を深め、プライバシーを尊重した介護について表現することができる。 c:プライバシーとは何かについて関心をもち、介護福祉士として利用者のプライバシー保護に向けて主体的に取り組む態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 観察
		第4章　介護実践における連携 1　多職種連携とチームケア 2　医療・保健・福祉と介護 3　介護支援専門員との連携 4　ボランティアとの連携	a:医療、保健、福祉の各専門職の役割と連携の必要性について理解している。 b:介護現場におけるチームケアについて思考を深め、より良い介護に向けて表現することができる。 c:超高齢社会における地域包括ケアについて関心をもち、地域住民の一員として主体的に要介護者の生活を支援する態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 観察

※令和４年度以降入学生用

	第3編　介護を必要とする人の理解と支援	第1章　介護を必要とする人と生活環境 1　介護を必要とする人の生活環境 2　介護を必要とする人の背景と生活環境	a:介護を必要とする人の生活環境を整える方法として、バリアフリーとユニバーサルデザインについて理解している。 b:生活環境を整えることの意義について思考を深め、自立につながる環境整備に向けて表現することができる。 c:バリアフリーに関心をもち、地域住民の一員として心のバリアフリーを主体的に実践できる態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 観察
3学期		第2章　高齢者の生活と支援 1　高齢者の活動 2　高齢者を取りまく環境の考え方 3　高齢者の生活支援	a:高齢者の社会参加や高齢者を取りまく環境について理解している。 b:高齢者の社会参加について思考を深め、超高齢社会における高齢者の活躍の場を創造する力を身に付けている。 c:超高齢社会において、就労の場面など高齢者と協働して取り組む態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 観察
		第3章　障がい者の生活と支援 1　障がいとは何か 2　肢体不自由者の生活と支援 3　視覚障がい者、聴覚・言語障がい者の生活と支援 4　内部障がい者の生活と支援 5　知的障がい者の生活と支援 6　発達障がい者の生活と支援 7　精神障がい者の生活と支援	a:身体障がい者、知的障がい者、発達障がい者、精神障がい者の定義について理解している。 b:障がいに応じた生活上の困難について思考を深め、より良い支援方法について発表することができる。 c:障がい者の日常生活について関心をもち、介護従事者として主体的に要介護者の生活を支援する態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度